

勾配天井が1日の疲れを癒してくれる家

〈横浜市・F様 2007年竣工〉



「家を建てるご計画をもたれたきっかけは？以前の家の悩みなどありましたら教えてください。」

「以前の家は建売でした。住んで3年目くらいから建てつけが悪くなって、扉が閉まりづらくなりました。建具の素材もあまり良いものでなく中身がスカスカのもので、満足していませんでした。基礎にもすぐヒビが入ってきて早い時期から信用できなくなりましたね。床も傾斜してビームが転がってしまっ：リフォームしても直りませんでした。この地域は冬寒いのですが暖房の効きが悪く本当に寒さが厳しかったです。夏も冷房の効きが極めて悪かったですね。それでも頑張つて28年くらい住みましたが、もう限界だと感じて建替えを決意しました。」

「施工会社を選択する際のポイントは何でしたか？」

「最初に伺った時になんだか不思議な縁を感じました。他のメーカーにも行ったのですが、近代さんには不思議な感覚がありました。口ではうまく表現できないですけど。そしていくつかモデルハウスを見せてもらった後に住んでる方の家を訪問して「ここだ！」とすぐに決めました。」

「近代ホームに決めた理由は何でしたか？」

「本当に、何と言えはいいんでしょうか：「縁」としか言いようがないです。不思議な感覚があったのを覚えています。」

「どんな家が建てたいか具体的な希望、夢はありましたか？」

「和室とキッチンを広く素敵にしたいなと思っていました。他にはバリアフリーですね。将来車椅子になっても不自由がないように、広い洗面所とトイレを希望していました。もう一つは勾配天井。一度住んでいる方の家を見せてもらった時に、そこのお宅の勾配天井がとても気に入りました。」

「家づくりで苦労した事、また楽しかった事を教えてください。」

「内装を担当してくれたコーディネーターの青木さんとの打ち合わせがとても楽しかったですね。現場が始まってからは大工の佐藤さんと話す事が楽しみでした。特に和室の茶室の件をいろいろお話した事が楽しかったです。苦労は：言っても良いんですか？お金



の苦勞ですよ！(笑)

―建築中の近代ホーム社員の対応、大工・職人の仕事はいかがでしたか？

社員の方、業者さん、大工さん、皆さんとてもアツトホームで、チームワークが良いなと感じましたね。いろいろアドバイスもいただけて助かりましたし、皆さんの一生懸命さが伝わりました。本当にみなさん人柄があつたかい。そんな感じがしました。

―近代ホームでの家づくりを経験し、何が一番よかったと思われませんか？

現場で出来るのを見ながら皆さんと話したり、住んでいる方々との交流が持てたりした所が家族的ですごく良かったです。

―間取りやデザイン等でこだわった点、気に入っている点などありますか？

全部気に入ってますよ。でも特に、と言われたらやっぱり茶室ですかね。あとはこのリビングの窓。ここはとても気に入ってます。

―以前までの家と比べて、住み心地はどう変わりましたか？

180度変わりましたよ。静かだし、暖かいし、涼しいし。外に出たくなくなりました。家が一番くつろげるから安心してます。

―盛夏時、また厳冬時の電気代はどのくらいでしたか？省エネ性を感じましたか？

電気代は今までの家の3分の2ぐらい。でも前の家は一部屋暖めたり冷やしたりするだけの電気代だったので、今は家全体が暖まって前より安いですからね。満足してますよ。

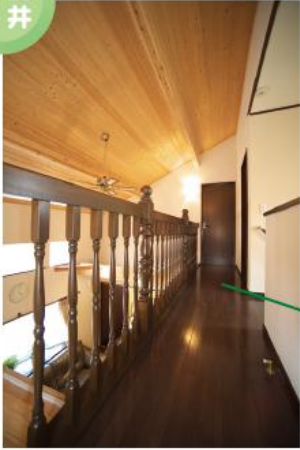
―もっとこうすればよかったと思う点がありますか？特に無いですけど、あえて言うならば収納をもう少し広くすれば良かったですね。でも洗面所をあえて広くしたりしたのでスペースにも限りがありましたし、仕方のない事です。

―これから家を建てる方へのアドバイスをお願いします。

よく話し、いろいろ聞いてもらって安心できると感じる事です。縁はとても大事ですから、身体が感じる何かを大切にしたら良いのでは、と思います。

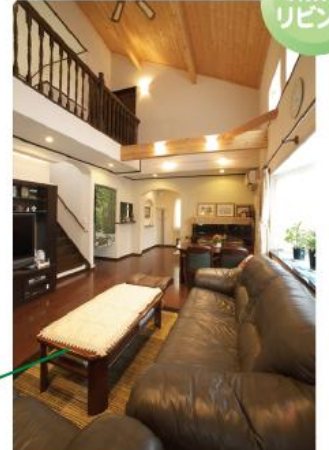
F様邸 の間取り

勾配天井

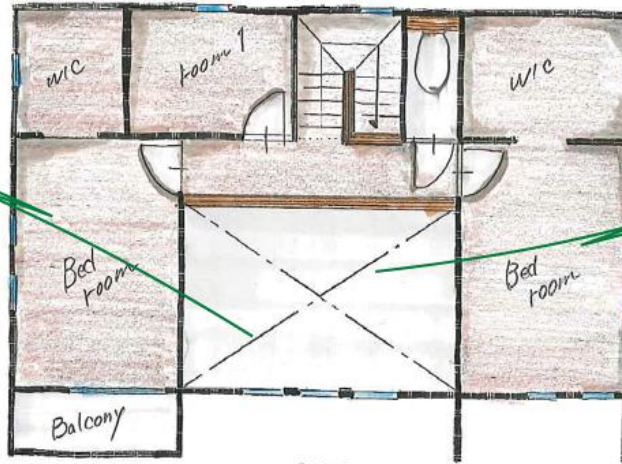


1Fの天井高を利用して勾配天井に。夏でも暑くありません。

吹抜けリビング



こちらのソファから、2Fに上がった愛犬の様子がよく見える。



2F

茶室



茶室は普段は客間として利用しています。

アプローチ



庭へは足元が悪くならないようにコンクリートや、周りには木をたくさん植えています。

水屋



縁側には水屋を配置。「杉の一枚板の腰板を施工するのに苦労しました」と担当大工。



1F

庭



グリーンのパラソルが淡い色の外壁の良いアクセントになっています。

この家を
建てたのは

佐藤宏亮 元棟梁



大工棟梁を経て
現在は、㈱せら工房
お客様相談室課長代理

当時の 思い出

F様邸は私が大工として担当した最後の現場ということもあって思い出がたくさん詰まった特別な現場です。今の住宅は昔ながらの和風の家が少なくなり、ましてや茶室のある家などほとんどありませんが、F様邸では初めて茶室を作らせて頂きました。とにかく茶室も炉も水屋も初体験ということいろいろ探した結果、東京にある建材屋さんで茶室があることを聞きつけ、コーディネーターと現場監督を連れて見に行ったことを今でも覚えています。完璧ではありませんが精一杯つくらせて頂いた結果、私の自慢の1棟となりました。実はF様邸の建築中に社内勤務になる話がありまして私としても最後は絶対に恥ずかしくない仕事、そしてやったことのない茶室も「自分に出来ないことはない!」と意気込んで取り組んだ記憶があります。ご夫婦はいつも穏やかに常にお優しく接して頂き、建築中は何度もお食事を弟子共々一緒にさせて頂きました。お引き渡し後はお会いする機会も少なくなりましたが、年始回りでお邪魔した際にはいつも笑顔で出迎えてくれます。そして今現在快適に暮らしている事を聞くとこの上ない嬉しさを感じます。これからも健康で快適に暮らして頂くことが私の何よりの願いです。



F様に共感いただいたシンメトリーの外観。中央に配置したポウ・ウィンドウと上部の窓の配置で統一感を。庭の木々とのバランスの清楚さを引き立てます。



庭にはガーデンテーブルを置き、天気の良い日には外でのお茶も楽しめます。

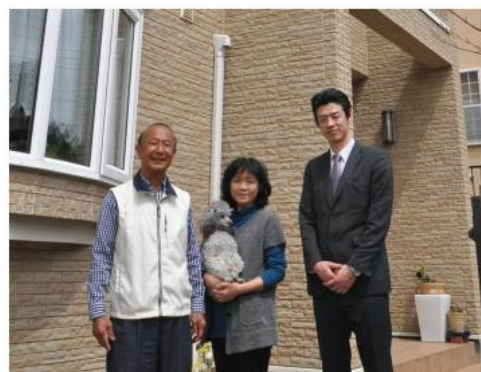


立地条件を上手に利用し、駐車場スペースと空間を分けることにより庭でのプライベート感を確保できる。

DATA

所在地／神奈川県横浜市栄区
家族構成／ご夫婦
竣工／2007年4月

延床面積／119㎡
1階床面積／68㎡
2階床面積／51㎡



取材当日の記念写真。ご夫婦とかわいい愛犬が笑顔で迎えてくれました。